

ベストセラー、創刊誌と出版業界の主な出来事

	主なベストセラー	主な創刊誌	出版業界
昭和 21 年 (1946)	『旋風二十年』(講書房) 『愛情は降る星のごとく』(世界評論社) 『腕くらべ』(新生社) 『哲学ノート』(河出書房)	『主婦と生活』(主婦と生活社) 『少年』(光文社) 『世界』(岩波書店) 『リーダーズダイジェスト』(リーダーズダイジェスト社)	出版社多数創業、新旧 4,000 余社 用紙事情悪化、出版業者、闇紙購入に狂奔 出版界界正に不満とする 21 社、日本自由出版協会を設立
昭和 22 年 (1947)	『旋風二十年』(講書房) 『愛情は降る星のごとく』(世界評論社) 『完全なる結婚』(ふもと社) 『凱旋門』(板垣書店) 『夏目漱石全集』(岩波書店)	『小説新潮』(新潮社) 『週刊アサヒ芸能』(アサヒ芸能新聞社) 『小学一年の学習』(学習研究社) 『PHP』(PHP 研究所) 『新電気』(オーム社)	内閣の用紙割当委員会、割当新原則を定め、雑誌 A5 判 64 ページ、B5 判 32 ~ 48 ページに制限 規格外の仙花紙を使ったカストリ雑誌氾濫 日本出版配給(日配)、新刊書籍の委託取引制を再開 戦後第 1 回の読書週間開催
昭和 23 年 (1948)	『斜陽』(新潮社) 『愛情は降る星のごとく』(世界評論社) 『凱旋門』(板垣書店)	『暮らしの手帖』(衣裳研究所) 『Accounting 企業会計』(中央経済社)	小売書店の復活または開業多く、日配の取引小売書店 3 月現在数 7,080 店 新聞及出版用紙割当委員会出版部会、低俗出版物の抑止のため不良出版物には割当を行わない旨の声明書を発表 過度経済力集中排除法に基づき日配に対し集中排除を指定
昭和 24 年 (1949)	『この子を残して』(講談社) 『共産主義批判の常識』(新潮社) 『風と共に去りぬ』(三笠書房)	『おもしろブック』(集英社) 『冒険王』(秋田書店) 『少女』(光文社)	日本自由出版協会に日本出版連盟が合流し、全国出版協会を結成 日配閉鎖。日本出版販売、東京出版販売など新取次会社発足 『角川文庫』創刊
昭和 25 年 (1950)	『細雪』(中央公論社) 『潜行三千里』(毎日新聞社) 『風と共に去りぬ』(三笠書房)	『女学生の友』(小学館) 『日本カメラ』(日本カメラ社) 『モダンリビング』(婦人画報社)	印刷用紙の価格統制解除 取次 29 社により出版取次懇和会(後の日本出版取次協会)結成
昭和 26 年 (1951)	『少年期』(光文社) 『ものの見方について』(河出書房) 『源氏物語』(中央公論社)	『少女ブック』(集英社) 『囲碁』(誠文堂新光社) 『モーターサイクリスト』(八重洲出版)	特運の値上げに反対運動起こる 文庫本の発行(90 余種)盛況
昭和 27 年 (1952)	『人間の歴史』(光文社) 『三等重役』(毎日新聞社) 『ニッポン日記』(筑摩書房) 『千羽鶴』(新潮社) 『生きてゐる日本史』(講書房)	『週刊サンケイ』(産経新聞社) 『週刊読売』(読売新聞社) 『よいこのくに』(学習研究社) 『明星』(集英社) 『大学受験講座ラジオ TEXT』(旺文社) 『レコード芸術』(音楽之友社)	出版物に二重価格制(地方定価)実施 雑誌創刊ラッシュ 戦記、記録ものの出版、盛況 文学全集ブーム起こる
昭和 28 年 (1953)	『昭和文学全集』(角川書店) 『人間の歴史』(光文社) 『君の名は』(宝文館)	『税務弘報』(中央経済社) 『体育科教育』(大修館書店) 『機械技術』(日刊工業新聞社)	学校図書館法公布(S29.4.1 施行) 『日本出版クラブ』設立 小売書店の割引販売が表面化。東京出版物小売業組合、割引販売防止の法的規制のため独占禁止法改正案に基づく(再販売価格維持契約)の実施を計画
昭和 29 年 (1954)	『女性に関する十二章』(中央公論社) 『昭和文学全集』(角川書店) 『現代日本文学全集』(筑摩書房)	『メンズクラブ』(婦人画報社) 『ぼくら』(講談社) 『なかよし』(講談社)	新書版ブーム、個人全集の出版盛ん 出版取次懇和会、再販売価格維持契約について各出版社に契約締結を要請 週刊雑誌の需要激増
昭和 30 年 (1955)	『はだか随筆』(中央経済社) 『経済学教科書』(合同出版社) 『広辞苑』(岩波書店)	『りぼん』(集英社) 『若い女性』(講談社) 『月刊プロレス』(ベースボールマガジン社)	有書図書追放の機運高まる(漫画中心の児童雑誌が対象に) 『世界大百科事典』(全 32 巻、平凡社)等、大型企画出始める 剣豪小説ブーム起こる
昭和 31 年 (1956)	『太陽の季節』(新潮社) 『帝王と墓と民衆』(光文社) 『異性ノイローゼ』(光文社) 『あなたは煙草がやめられる』(早川書房)	『週刊新潮』(新潮社) 『週刊漫画タイムス』(秀文社) 『よいこ』(小学館) 『月刊投資版』のちの『オール投資』(東洋経済新報社)	『日本雑誌協会(雑協)』設立 再販売価格維持契約実施 婦人誌の大判化始まる
昭和 32 年 (1957)	『挽歌』(東都書房) 『楯山節考』(中央公論社) 『鍵』(中央公論社)	『週刊女性』(河出書房のち主婦と生活社) 『中学一年コース』(学習研究社) 『中学時代一年生』(旺文社)	『日本書籍出版協会(書協)』設立 河出書房倒産、河出書房新社へ 学年誌の競争激化
昭和 33 年 (1958)	『人間の条件』(三一書房) 『氷壁』(新潮社) 『南極越冬記』(岩波書店) 『少年少女世界文学全集』(講談社) 『陽のあたる坂道』(講談社) 『経営学入門』(光文社)	『女性自身』(光文社) 『週刊明星』(集英社) 『週刊大衆』(双葉社) 『家庭画報』(世界文化社) 『めばえ』(小学館) 『NHK テキスト きょうの料理』(日本放送出版協会) 『高三コース』(学習研究社)	出版社の週刊誌創刊相次ぐ 国鉄の特運規格強化で付録の形態・重量など制限 全集ものの出版、盛況 『日本出版労働組合協議会』設立 『書店新風会』設立

	主なベストセラー	主な創刊誌	出版業界
昭和34年 (1959)	『にあんちゃん』(光文社) 『日本の歴史』(読売新聞社) 『少年少女世界文学全集』(講談社) 『波瀾』(講談社) 『催眠術入門』(光文社) 『論文の書き方』(岩波書店) 『日本文学全集』(新潮社) 『世界文学全集』(河出書房新社)	『週刊現代』(講談社) 『週刊文春』(文藝春秋) 『朝日ジャーナル』(朝日新聞社) 『少年マガジン』(講談社) 『少年サンデー』(小学館) 『週刊平凡』(平凡出版) 『幼稚園』(小学館) 『めばえ』(小学館) 『NHK テキスト 婦人百科』のち『おしゃれ工房』(NHK出版)	皇太子ご成婚で週刊誌の大ブーム 音の出る雑誌、創刊 書籍運賃込正味制の実施 『読書推進運動協議会(読進協)』設立
昭和35年 (1960)	『性生活の知恵』(池田書店) 『頭のよくなる本』(光文社) 『どくとるマンボウ航海記』(中央公論社) 『敦煌』(講談社)	『1年のかがく』(学習研究社) 『潮』(潮出版社) 『コマmercial フォト』(玄光社) 『新しい住いの設計』(産経新聞社)	ノンフィクションものの発行盛況 小学校入学者数減少で児童書、雑誌の売り純化 フォノシート出版、盛んとなる 『日本図書普及』設立
昭和36年 (1961)	『英語に強くなる本』(光文社) 『砂の器』(光文社) 『日本経済入門』(光文社)	『ミセス』(文化服装学院出版局) 『小説推理』(双葉社) 『ブレーン』(誠文堂新光社)	小売全連の適正利潤獲得運動広がる 平凡社『国民百科事典』好調な伸びを示す 定値上がりムードとなる
昭和37年 (1962)	『易入門』(光文社) 『愛と死のかたみ』(集英社) 『徳川家康(1～19)』(講談社) 『算数に強くなる』(毎日新聞社)	『小説現代』(講談社) 『週刊少女フレンド』(講談社) 『週刊TVガイド』(東京ニュース通信社) 『企業実務』(日本実業出版社)	雑誌正味引下げ、三者合意 正味下げを拒否した雑誌『世界』の不売問題起こる 日本百科、国民百科、好売れ行きを示す 日本出版クラブ主催で第1回出版人大会開催
昭和38年 (1963)	『徳川家康(1～19)』(講談社) 『危ない会社』(光文社) 『性生活の知恵』(池田書店) 『物の見方考え方』(実業之日本社) 『流通革命』(中央公論社)	『週刊女性セブン』(小学館) 『週刊ヤングレディ』(講談社) 『マーガレット』(集英社) 『週刊少年キング』(少年画報社) 『太陽』(平凡社)	不良出版物追放運動の展開 書籍正味引下げ問題、妥結 ペーパーバックスの氾濫 『大学出版部協会』設立
昭和39年 (1964)	『愛と死をみつめて』(大和書房) 『徳川家康(1～21)』(講談社) 『アンネの日記』(文藝春秋新社)	『平凡パンチ』(平凡出版) 『週刊漫画ゴラク』(日本文芸社) 『展望』(筑摩書房)	『雑誌ABC公査』発足 オリンピック関係図書の売れ行き良好 出版社、社屋新築ブーム
昭和40年 (1965)	『人間革命(1)』(聖教新聞社) 『なせば成る』(講談社) 『白い巨塔』(新潮社)	『別冊マーガレット』(集英社) 『別冊少女フレンド』(講談社) 『天文ガイド』(誠文堂新光社)	百科事典ブームとなる 新興宗教団体の出版活動盛ん 大学生のマンガ愛読、話題となる
昭和41年 (1966)	『人間革命(2)』(聖教新聞社) 『氷点』(朝日新聞社) 『へんな本』(青春出版社)	『MC SISTER』(婦人画報社) 『週刊プレイボーイ』(集英社) 『会計人コース』(中央経済社)	全日空機羽田沖墜落事故により、出版人多数遭難 雑誌運賃撤廃問題、解決 宗教書・人生論関係書、盛況
昭和42年 (1967)	『頭の体操(1)(2)(3)』(光文社) 『人間革命(3)』(聖教新聞社) 『華岡青洲の妻』(新潮社) 『徳川の夫人たち』(朝日新聞社)	『週刊漫画アクション』(双葉社) 『問題小説』(徳間書店) 『設備と管理』(オーム社) 『陸上競技』(講談社)	図書月販の進出 明治100年関連出版続出 公取委、出版物の適当報奨への自粛うながす
昭和43年 (1968)	『人間革命(4)』(聖教新聞社) 『民法入門』(光文社) 『刑法入門』(光文社) 『竜馬がゆく(1～5)』(文藝春秋) 『どくとるマンボウ青春記』(中央公論社)	『週刊セブンティーン』(集英社) 『少女コミック』(小学館) 『ビッグコミック』(小学館) 『プレイコミック』(秋田書店) 『小説宝石』(光文社)	改正割版法の実施により、書籍も指定商品となる 出版業の資本自由化につき、出版関係4団体、反対の陳情書を配布 雑誌の創刊相次ぐ 個人全集ラッシュ 書店新風会は新風賞を設定、第1回は朝日新聞社『氷点』に
昭和44年 (1969)	『人間革命(5)』(聖教新聞社) 『天と地と(1～3)』(朝日新聞社) 『対話 人間の原点』(サンケイ新聞社) 『都市の論理』(勁草書房)	『週刊ポスト』(小学館) 『週刊少年ジャンプ』(集英社) 『週刊少年チャンピオン』(秋田書店) 『日経ビジネス』(日経B P)	『日本出版学会』発足 『全日本ブッククラブ』発足 少年向け週刊誌の伸長 紀伊國屋書店梅田店開店
昭和45年 (1970)	『日本万国博公式ガイドマップ』(日本万国博覧会協会) 『冠婚葬祭入門』(光文社) 『誰のために愛するか』(青春出版社) 『創価学会を斬る』(日新報道出版部) 『心』(徳間書店)	『an-an』(平凡出版) 『別冊少女コミック』(小学館) 『すばる』(集英社) 『POP TEEN』(飛鳥新社) 『週刊アルファ大世界百科』(日本メールオーダー社)	全出版物に書籍コード制実施 定価別新正味制の実施 公書関係書の出版、盛んとなる 新著作権法、成立 『冠婚葬祭入門』『誰のために愛するか』ミリオンセラーに
昭和46年 (1971)	『人間革命(6)』(聖教新聞社) 『冠婚葬祭入門(正)(続)』(光文社) 『日本人とユダヤ人』(山本書店) 『春の坂道(1～3)』(日本放送出版協会) 『HOW TO SEX』(KKベストセラーズ) 『ラブ・ストーリィ』(角川書店) 『戦争を知らない子供たち』(フロンズ社)	『non-no』(集英社) 『woman』(講談社) 『微笑』(祥伝社) 『テレビマガジン』(講談社) 『話のチャンネル』(日本文芸社) 『週刊FM』(音楽之友社) 『週刊パーゴルフ』(学習研究社) 『朝日 = ラルース 世界動物百科』(朝日新聞社)	『講談社文庫』創刊、一挙に55点を刊行。文庫時代へ 小売全連、最高正味75掛獲得運動 雑誌発売日、三者協定の実施 大型書店の店出、顕著になる

	主なベストセラー	主な創刊誌	出版業界
昭和 47 年 (1972)	『恍惚の人』(新潮社) 『天の音楽』(仙乃世界社) 『人間革命 (7)』(聖教新聞社) 『日本列島改造論』(日刊工業新聞社) 『HOW TO SEX』(KKベストセラーズ)	『びあ』(ぴあ) 『NHK テキスト 趣味の園芸』(日本放送出版協会) 『週刊小説』(実業之日本社) 『おともだち』(講談社) 『ロードショー』(集英社)	「ブック戦争」と呼ばれる書店スト起こる 国際図書年で、各種行事展開される 書籍正味の改訂、実施 小売全連は「日書連」に名称変更
昭和 48 年 (1973)	『日本沈没 (上・下)』(光文社) 『人間革命 (8)』(聖教新聞社) 『怪物商法』(KKベストセラーズ) 『ぐうたら人間学』(講談社) 『にんにく健康法』(光文社)	『ジュノン』(主婦と生活社) 『チェックメイト』(講談社) 『わたしの赤ちゃん』(主婦の友社) 『正論』(産経新聞社、のち扶桑社) 『歴史と旅』(秋田書店)	オイルショックによる用紙不足が深刻になり、未曾有の危機を迎える 文庫ブーム起こる 学習百科事典の出版、各社競合 『全日本ブッククラブ』解散 『書店未来研究会』発足
昭和 49 年 (1974)	『かもめのジョナサン』(新潮社) 『ノストラダムスの大予言』(祥伝社) 『たべながらやせる健康食』(KKベストセラーズ) 『婦人抄』(主婦の友社) 『虚構の家』(読売新聞社) 『あのねのね』(KKベストセラーズ)	『花とゆめ』(白泉社) 『月刊プリンセス』(秋田書店) 『GORO』(小学館) 『野性時代』(角川書店) 『英文会社四季報』(東洋経済新報社) 『壮快』(講談社) 『宝島』(JICC出版局、現宝島社)	三省堂による値上げシール貼付問題と、会社更生法の適用申請 『文藝春秋』11月号記事「田中角栄研究」、大きな波紋を呼ぶ 地方正味格差の撤廃 定価の大幅上昇
昭和 50 年 (1975)	『播磨灘物語 (上・中・下)』(講談社) 『複合汚染 (上・下)』(新潮社) 『飲ドんいてみようやってみよう (I・II)』(集英社) 『眼がどんどんよくなる』(青春出版社)	『PLAYBOY 日本版』(集英社) 『JJ』(光文社) 『月刊 mimi』(講談社) 『就職情報』(リクルート)	不況が出版業界にも大きく影響 文庫正味統一 78 掛の実施 コピー公害が広がり、対策を迫られる 出版情報のあり方、議論的となる
昭和 51 年 (1976)	『限りなく透明に近いブルー』(講談社) 『人間革命 (9)』(聖教新聞社) 『不毛地帯 (I・II)』(新潮社) 『青春の門 墮落篇 (上)』(講談社) 『翔ぶが如く (1～7)』(文藝春秋)	『POPEYE』(平凡出版) 『てれびくん』(小学館) 『LaLa』(白泉社) 『わたしの健康』(主婦の友社) 『本』(講談社)	国際出版連合 (IPA) 第 20 回大会、京都で開催 書店の出店競合と、他業界からの参入 出版情報誌「これから出る本」創刊 ムック、カタログ誌、情報誌などの登場 『地方・小出版流通センター』発足
昭和 52 年 (1977)	『間違いだらけのクルマ選び (正・続)』(車窓社) 『頭のいい銀行利用法』(青春出版社) 『八甲田山死の彷徨』(新潮社) 『知的生活の方法』(講談社) 『人間の証明』(光文社) 『エーゲ海に捧ぐ』(角川書店) 『ルーツ (上・下)』(社会思想社)	『MORE』(集英社) 『クロワッサン』(平凡出版) 『美しい部屋』(主婦と生活社) 『ココロコミック』(小学館) 『ちやお』(小学館) 『プチセブン』(小学館) 『ベストカー』(講談社) 『旅の手帖』(弘済出版社) 『月刊アスキー』(アスキー) 『VOICE』(PHP 研究所)	書協、『日本書籍総目録』刊行 出版不況、深刻の度を加える 『少年ジャンプ』『少年チャンピオン』雑誌史上初の 200 万部突破 雑誌ポルノ自販機の規制強化
昭和 53 年 (1978)	『人間革命 (10)』(聖教新聞社) 『頭のいい税金の本』(青春出版社) 『和宮様御留』(講談社) 『黄金の日』(新潮社) 『不確実性の時代』(TBSブリタニカ)	『ひとみ』(秋田書店) 『ギャルズ・ライフ』(主婦の友社) 『アニメージュ』(徳間書店) 『カー&ドライバー』(ダイヤモンド社) 『Fine』(日之出出版)	公正取引委員会、出版物再販制度見直しを表明 筑摩書房、倒産 八重洲ブックセンター、日本最大規模で開店 取協・日書連が月 1 回支払制で合意 書籍返品率、35%の台に
昭和 54 年 (1979)	『算命占星学入門』(青春出版社) 『サザエさんうちあけ話』(姉妹社) 『四季・奈津子 (上・下)』(集英社) 『ジャパン アズ ナンバーワン』(TBSブリタニカ)	『Hot-Dog PRESS』(講談社) 『ヤングジャンプ』(集英社) 『特ダネ最前線』(日本文芸社) 『ムー』(学習研究社)	中小出版社 84 社、出版流通対策協議会を結成 公取委、出版・取次・小売り 2,100 業者にアンケート配布 日書連、再販廃止全国書店総決起大会開催 第 2 次オイルショック
昭和 55 年 (1980)	『蒼い時』(集英社) 『ノストラダムスの大予言 (I・II)』(祥伝社) 『ツープートのわっ毒ガスだ』(KKベストセラーズ) 『項羽と劉邦 (上・中・下)』(新潮社) 『人生抄』(聖教新聞社) 『自分のお金をどうするか』(青春出版社) 『MY SEX』(KKベストセラーズ)	『コスモポリタン日本版』(集英社) 『25ans』(婦人画報社) 『ビックコミックスピリッツ』(小学館) 『ヤングマガジン』(講談社) 『BE-LOVE』(講談社) 『BRUTUS』(平凡出版) 『BIG tomorrow』(青春出版社) 『Number』(文藝春秋) 『とらばーゆ』(リクルート)	日本図書コード管理委員会発足 出版物公正取引協議会、再販契約書改定案を作成。再販品は「定価」表示 ビニール本、取り締まり強化 雑誌創刊ブーム、235 誌創刊
昭和 56 年 (1981)	『窓ぎわのトットちゃん』(講談社) 『人間万事塞翁が丙午』(新潮社) 『なんとなくクリスタル』(河出書房新社)	『with』(講談社) 『Can Cam』(小学館) 『ESSE』(扶桑社)	日本図書コード実施、表示開始 日本最大規模の三省堂書店開店 『窓ぎわのトットちゃん』430 万部、空前のベストセラーに

	主なベストセラー	主な創刊誌	出版業界
昭和 56 年 (1981)	<p>『神戸ポートアイランド* 博覧会公式ガイドブック・マップ』(神戸新聞出版センター)</p> <p>『アクションカメラ術 (1・2)』(KKベストセラーズ)</p> <p>『この愛いつまでも』(光文社)</p> <p>『ノストラダムスの大予言 (1～3)』(祥伝社)</p> <p>『飛鳥へ、そしてまだ見ぬ子へ』(祥伝社)</p> <p>『朝日新聞の用語の手びき』(朝日新聞社)</p> <p>『国語大辞典』(小学館)</p>	<p>『FOCUS』(新潮社)</p> <p>『週刊宝石』(光文社)</p> <p>『BE-PAL』(小学館)</p> <p>『写真時代』(白夜書房)</p> <p>『まんがタイム』(秀文社)</p> <p>『まんがライフ』(竹書房)</p> <p>『FM STATION』(ダイヤモンド社)</p> <p>『ダ・カーポ』(平凡出版)</p>	<p>公取委、「出版物小売業における景品類の提供の制限に関する公正競争規約」を設定</p> <p>『ハーレクイン・ロマンス』大人気</p>
昭和 57 年 (1982)	<p>『プロ野球を 10 倍楽しく見る方法』(KKベストセラーズ)</p> <p>『悪魔の飽食』(光文社)</p> <p>『気くばりのすすめ』(講談社)</p> <p>『親離れする時読む本』(青春出版社)</p> <p>『積木くずし』(朝原書店)</p> <p>『日本国憲法』(小学館)</p> <p>『チョッちゃんが行くわよ』(主婦と生活社)</p>	<p>『ザ・テレビジョン』(角川書店)</p> <p>『マリークレール』(中央公論社)</p> <p>『Olive』(平凡出版)</p> <p>『LEMON』(学習研究社)</p> <p>『Lady's Comic YOU』(集英社)</p> <p>『スコラ』(講談社、のち辰巳出版)</p> <p>『新潮 45』(新潮社)</p>	<p>大型書店出店に反対する全国地域小売団体協議会結成</p> <p>書協、「出版社・取次会社のための書籍返品減少対策マニュアル」作成</p>
昭和 58 年 (1983)	<p>『気くばりのすすめ』(講談社)</p> <p>『探偵物語』(角川書店)</p> <p>『和田アキ子だ文句あっか!』(日本文芸社)</p> <p>『老化は食べ物の原因だった』(青春出版社)</p> <p>『メガトレンド』(三笠書房)</p> <p>『佐川君からの手紙』(河出書房新社)</p> <p>『ひとひらの雪 (上・下)』(文藝春秋)</p>	<p>『LEE』(集英社)</p> <p>『Vivi』(講談社)</p> <p>『SAY』(青春出版社)</p> <p>『PENTHOUSE 日本版』(講談社)</p> <p>『Momoco』(学習研究社)</p> <p>『テレビライフ』(学習研究社)</p> <p>『日経パソコン』(日経 B P)</p> <p>『会社四季報未上場会社版』(東洋経済新報社)</p>	<p>雑誌発売日移行本部委員会、「『発売日協約』と『契約』」を発表、発売日協約の重要性を訴える</p> <p>昭和 55 年をしのぐ雑誌創刊ラッシュ、244 誌創刊</p> <p>『FOCUS』法廷隠し撮り写真などで話題、178 万部突破</p> <p>東京ディズニーランド開業、入園者 6 ヶ月で 615 万人</p> <p>NHK テレビ『おしん』、視聴率 65% を記録</p>
昭和 59 年 (1984)	<p>『プロ野球知らなきゃ損する』(青春出版社)</p> <p>『愛情物語』(角川書店)</p> <p>『メインテマ (PART1～3)』(角川書店)</p> <p>『人生汗と涙と情』(講談社)</p> <p>『新常識わが家の銀行利用法』(青春出版社)</p> <p>『愛、見つけた』(二見書房)</p> <p>『告白ハンパしちやってごめん』(KKワニブックス)</p> <p>『第四の核 (上・下)』(角川書店)</p> <p>『もっと! チェッカーズ』(扶桑社)</p>	<p>『CLASSY.』(光文社)</p> <p>『ef』(主婦の友社)</p> <p>『SOPHIA』(講談社)</p> <p>『FRIDAY』(講談社)</p> <p>『ザ・ベストマガジン』(ベストセラーズ)</p> <p>『POTATO』(学習研究社)</p> <p>『エレガンス イブ』(秋田書店)</p> <p>『パズラー』(世界文化社)</p> <p>『RV マガジン』(徳間書店)</p> <p>『フローリスト』(誠文堂新光社)</p> <p>『近代麻雀』(竹書房)</p>	<p>自民党、少年少女向け有害図書販売規制などに関する法律案網試案を作成</p> <p>出版倫理協、有害図書規制の国会決議に反対、各党に要望書を提出</p> <p>2 年連続雑誌創刊ラッシュ、238 誌創刊</p> <p>書籍の売れ行き鈍化、返品率 39.1% に急上昇</p> <p>非再販売本フェア「読者謝恩出版社バーゲンブックフェア」銀座で開催</p> <p>オンラインシステム、日販 [NOCS]、東販 [TONETS] 稼働</p>
昭和 60 年 (1985)	<p>『スーパーマリオブラザーズ完全攻略本』(徳間書店)</p> <p>『アイアコッカ』(ダイヤモンド社)</p> <p>『科学万博つくば' 85 公式ガイドブック』(講談社)</p> <p>『プロ野球殺られても書かずいられない』(青春出版社)</p> <p>『わが家の確定申告法』(青春出版社)</p> <p>『首都消失 (上・下)』(徳間書店)</p> <p>『豊臣秀長 (上・下)』(PHP 研究所)</p>	<p>『ファミリーコンピューターマガジン』(徳間書店)</p> <p>『ビジネスジャンプ』(集英社)</p> <p>『月刊ニュータイプ』(角川書店)</p> <p>『Mil』(双葉社)</p> <p>『日経マネー』(日本経済新聞社)</p> <p>『Emma』(文藝春秋)</p> <p>『金融ビジネス』(東洋経済新報社)</p>	<p>書籍の返品率が 39.5% に</p> <p>文庫および 500 円以下の書籍、正味 1 分引き下げの新正味制実施</p> <p>3 年連続創刊ラッシュ、史上最高の 245 誌創刊</p> <p>日本図書コード管理委、図書コード普及状況は 9 月末現在、新刊表示 80% と公表</p> <p>日航機、群馬県御巣鷹山に墜落。死者 520 人、奇跡的に 4 人生還</p> <p>紀伊國屋書店、データサービスを開始</p>
昭和 61 年 (1986)	<p>『スーパーマリオブラザーズ完全攻略本』(徳間書店)</p> <p>『自分を生かす相性殺す相性』(祥伝社)</p> <p>『運命を読む六星占術入門』(ごま書房)</p> <p>『化身 (上・下)』(集英社)</p> <p>『日本はこう変わる』(徳間書店)</p> <p>『知価革命』(PHP 研究所)</p> <p>『うつみ宮土理のカチンカチン体操』(扶桑社)</p> <p>『大前研一の新・国富論』(講談社)</p> <p>『聖子』(小学館)</p> <p>『わが家の頭のいい銀行利用法』(青春出版社)</p>	<p>『オレンジページ』(オレンジページ)</p> <p>『LA-SEINE (ラ・セーヌ)』(学習研究社)</p> <p>『DIME』(小学館)</p> <p>『ターザン』(マガジンハウス)</p> <p>『Men's NON-NO』(集英社)</p> <p>『FINEBOYS』(日之出出版)</p> <p>『BOON』(祥伝社)</p> <p>『TOUCH』(小学館)</p> <p>『FLASH』(光文社)</p> <p>『News Week 日本版』(TBSブリタニカ)</p> <p>『Duet』(集英社)</p> <p>『URECCO』(大洋図書)</p>	<p>業界が総力を挙げて返品減少対策を始める</p> <p>ファミコンの本・雑誌大ブーム</p> <p>写真週刊誌の創刊相次ぐ</p> <p>ビートたけしと軍団、講談社『フライデー』編集部に殴り込み、現行犯で逮捕</p> <p>男女雇用機会均等法施行</p> <p>年初より地価高騰、投機的に地上げ地買いで狂乱地価となる</p> <p>『日本電子出版協会』発足</p>

	主なベストセラー	主な創刊誌	出版業界
昭和 61 年 (1986)		『ファミコン通信』(アスキー) 『型技術』(日刊工業新聞社) 『imidas』(集英社)	
昭和 62 年 (1987)	『サラダ記念日』(河出書房新社) 『ビジネスマンの父より息子への 30 通の手紙』(新潮社) 『塀の中の懲りない面々』(文藝春秋) 『MADE IN JAPAN』(朝日新聞社) 『鈴の鳴る道』(偕成社)	『レタスクラブ』(エスエスコミュニケーションズ、のち KADOKAWA) 『MINE』(講談社) 『日経トレンドィ』(日経 B P) 『JR 編集時刻表』(弘済出版社) 『TV ステーション』(ダイヤモンド社)	共通雑誌コード管理センター設立 書籍データセンター設立 本の宅配便が多様に展開 文芸からビジネスまでカセットブック大流行
昭和 63 年 (1988)	『こんなにヤせていかしら』(青春出版社) 『ノルウェイの森 (上・下)』(講談社) 『ゲームの達人 (上・下)』(アカデミー出版) 『裕さん、抱きしめたい』(主婦と生活社) 『ダンス・ダンス・ダンス (上・下)』(講談社) 『金子信雄の楽しい夕食』(実業之日本社) 『十津川警部の挑戦 (上・下)』(実業之日本社) 『三毛猫ホームズと愛の花束』(光文社) 『とれたての短歌です。』(角川書店)	『Hanako』(マガジンハウス) 『Ray』(主婦の友社) 『日経ウーマン』(日経ホーム出版) 『DAYS JAPAN』(講談社) 『AERA』(朝日新聞社) 『Begin』(世界文化社) 『GOODS PRESS』(徳間書店) 『月刊 Pumpkin』(潮出版社) 『ASAHI パソコン』(朝日新聞社) 『週刊エクラフト』(同朋舎出版)	『婦人倶楽部』『PENTHOUSE 日本版』『少年キング』『平凡パンチ』など雑誌の休・廃刊相次ぐ 角川書店、『とれたての短歌です』を書店からの予約部数申し込み、卸正味 6 割 (マージン取次 10%・書店 30%) で刊行、議論呼ぶ 大型国語事典『大辞林』(三省堂) 刊行 バブル経済最盛期
平成元年 (1989)	『TUGUMI』(中央公論社) 『キッチン』(福武書店) 『寂しい予感』(角川書店) 『消費税こうやればいい』(青春出版社) 『消費税 実務と対策はこうする』(実業之日本社) 『ノルウェイの森 (上・下)』(講談社) 『人麻呂の暗号』(新潮社) 『ホーキング、宇宙を語る』(早川書房) 『ラッフルズホテル』(集英社) 『下天は夢か (1 ~ 4)』(日本経済新聞社)	『サライ』(小学館) 『03 Tokyo calling』(新潮社) 『SPUR』(集英社) 『Miss 家庭画報』(世界文化社) 『CUTiE』(JICC出版局、現宝島社) 『Caz』(扶桑社) 『パチンコ必勝ガイド』(白夜書房) 『クロスワードファン』(世界文化社) 『パチンコ攻略マガジン』(双葉社) 『EYE COM』(アスキー) 『知恵蔵』(朝日新聞社)	昭和天皇崩御、1 月 8 日平成に改元。天皇・昭和関連企画一斉に刊行 3%の消費税実施。対応に振り回された出版界 取協と日書連、消費税転嫁原資を各出版社へ要請 吉本ばなな現象 『日本語大辞典』初のカラー版で発売、60 万部。辞・事典ブーム 高マージンの新買切制、実験的にスタート 東欧の民主化、ベルリンの壁取り壊し
平成 2 年 (1990)	『愛される理由』(朝日新聞社) 『真夜中は別の顔 (上・下)』(アカデミー出版) 『「NO」と言える日本』(光文社) 『文学部唯野教授』(岩波書店) 『恋愛論』(PHP 研究所) 『うたかた (上・下)』(講談社)	『すてきな奥さん』(主婦と生活社) 『自由時間』(マガジンハウス) 『ほんとうの時代』(PHP 研究所) 『Tokyo Walker』(角川書店) 『パチスロ必勝ガイド』(白夜書房) 『クロスワード DAY』(双葉社)	印刷・製本など生産部門、流通部門の人手不足深刻化 取協、『書籍の適正流通を目指して』を発表 中高年向け雑誌創刊相次ぐ 地球環境問題に高い関心、多様な企画の書籍・雑誌 東欧情勢、ドイツ統一、ゴルパチョフ改革関連書続出
平成 3 年 (1991)	『Santa Fe』(朝日新聞社) 『もものかんづめ』(集英社) 『血族 (上・下)』(アカデミー出版) 『ノストラダムス戦慄の啓示』(幸福の科学出版) 『だから私は嫌われる』(新潮社) 『タモリ・ウッチャンナンチャンの世紀末クイズ』(扶桑社) 『water fruit』(朝日出版社)	『FRaU』(講談社) 『H2O』(日本放送出版協会) 『マルコポーロ』(文藝春秋) 『VIEWS』(講談社) 『Bart』(集英社) 『少年ガンガン』(エニックス) 『アクションビザッツ』(双葉社)	『有害』コミック摘発各地で規制強化。出倫協、対策に苦慮 出版物再販制の「見直し」について報告書、制度には一定の評価 宮沢りえ写真集話題沸騰、ヘア写真では数社に警告 出版文化産業振興財団 (JPIC) 発足 第 1 回神保町ブックフェスティバル開催 湾岸戦争、ソ連クーデター、東欧情報関連書多数刊行
平成 4 年 (1992)	『それいけ×ココロジエ (1・2・3)』(青春出版社) 『人間革命 (11)』(聖教新聞社) 『さるのこしかけ』(集英社) 『世紀末クイズ (1・2・3)』(扶桑社)	『Oggi』(小学館) 『ヤングアニマル』(白泉社) 『ナンクロ』(世界文化社) 『Waggle』(実業之日本社)	バブル崩壊で休刊誌続出、出版社の大型倒産も話題に 日書連『書店経営白書』発表、正味引下げ運動を展開 島田陽子、荻野目慶子、マドンナ等の写真集売れ、話題に 公取委見解、出版物の再販存続、音楽 CD は「時限再販」導入へ
平成 5 年 (1993)	『人間革命 (12)』(聖教新聞社) 『磯野家の謎 (正・続)』(飛鳥新社) 『マディソン郡の橋』(文藝春秋) 『たいのおかしら』(集英社) 『清貧の思想』(草思社) 『日本改造計画』(講談社) 『生きるヒント』(文化出版局)	『Zipper』(祥伝社) 『Chou Chou』(角川書店) 『GQ Japan』(中央公論社) 『月刊 THE TENMEI』(竹書房) 『競馬ゴールド』(日本文芸社) 『電撃スーパーファミコン』(メディアワークス) 『週刊レンジにおまかせ』(徳間書店)	『謎』検証本ブーム、類書 50 冊を超える 日書連、正味獲得運動に一定の成果 皇太子ご成婚で写真集など関連書多数 小沢一郎『日本改造計画』ベストセラーに。連立政権関連書も 『学校図書館図書整備新 5 ヵ年計画』(第 1 次) 開始
平成 6 年 (1994)	『日本をダメにした九人の政治家』(講談社) 『大往生』(岩波書店)	『少年エース』(角川書店) 『Kansai Walker』(角川書店)	ミリオンセラー『大往生』をはじめ、異色ベストセラー続出 『週刊少年ジャンプ』が最大発行部数 653 万部を記録

	主なベストセラー	主な創刊誌	出版業界
平成 6 年 (1994)	『マディソン郡の橋』(文藝春秋) (1994) 『FBI 心理分析官』(早川書房) 『「超」整理法』(中央公論社) 『日本一短い「母」への手紙』(大巧社)	『日経クリック』(日経 B P) 『さわやか元気』(成美堂出版) 『PlayStation Magazine』(徳間書店) 『クロスワードランド』(白夜書房) 『ダ・ヴィンチ』(リクルート、のちKADOKAWA)	パーゲンブックフェア話題に。再販制論議に波及 マルチメディアブーム背景に関連書、創刊誌続出 消費税率アップ確定、定価表示問題が再浮上 正味引下げ、大手出版社の対応ようやく出揃う
平成 7 年 (1995)	『遺書』(朝日新聞社) 『松本』(朝日新聞社) 『ソフィーの世界』(日本放送出版協会) 『フォレスト・ガンブ』(講談社) 『大往生』(岩波書店) 『パラサイト・イヴ』(角川書店) 『金田一少年の事件簿 (1・2)』(講談社) 『そういうふうでできている』(新潮社) 『堀田力の「おごるな上司!」』(日本経済新聞社)	『VERY』(光文社) 『おはよう奥さん』(学習研究社) 『Saita』(芝パーク出版) 『COOL TRANS』(ワニマガジン社) 『電撃プレイステーション』(メディアワークス) 『DOS/V パワーレポート』(インプレス) 『インターネットマガジン』(インプレス) 『日経 WinPC』(日経 B P) 『週刊 花百科フルール』(講談社)	再販問題検討委員会「中間報告」発表。出版界は強く反発 戦後 50 年関連書続出、50 周年記念出版社がフェア 阪神・淡路大震災で出版界も打撃。記録書、防災書相次ぐ オウム真理教事件。多様な関連書相次いで刊行される 大型国語辞典が激しい競合、多様な辞書出版を展開 鳥取・米子市で「本の学校大山緑陰シンポジウム」が開催 Windows95 発売、インターネット時代始まる
平成 8 年 (1996)	『脳内革命』(サンマーク出版) 『「超」勉強法』(講談社) 『神々の指紋 (上・下)』(朝日社) 『脳内革命 (2)』(サンマーク出版) 『弟』(幻冬舎) 『猿岩石日記 Part1』(日本テレビ放送網) 『読め!』(光文社) 『ふたり』(幻冬舎) 『できる Windows95』(インプレス)	『Domani』(小学館) 『ar』(主婦と生活社) 『サンキュ!』(ベネッセコーポレーション) 『Cawaii』(主婦の友社) 『egg』(大塚図書) 『GET ON!』(学習研究社) 『smart』(宝島社) 『日経 PC21』(日経 B P) 『日経 Net Navij』(日経 B P)	大型ミリオンセラー、ベストセラー続出 規制緩和小委員会「論点公開」の「再販制廃止」に出版界反発 大型書店の開店相次ぐ。増床傾向さらに拍車 電子出版盛んに、インターネットによる販売も具体化 10 ~ 20 代をターゲットにした女性誌続々創刊
平成 9 年 (1997)	『ピストロスマップ完全レシビ』(扶桑社) 『失楽園 (上・下)』(講談社) 『少年 H (上・下)』(講談社) 『7 つの習慣』(キング・ペアー出版) 『鉄道員 (ぼっぼや)』(集英社) 『ももこの世界あっちこちめぐり』(集英社) 『まる子だった』(集英社) 『菅野美穂写真集 NUDITY』(インデペンデンス)	『TOKYO ★ 1 週間』(講談社) 『SPRING』(宝島社) 『nicola』(新潮社) 『ENTAME (エンタメ)』(徳間書店) 『BUBKA』(コアマガジン) 『日経エンタテインメント!』(日経 B P) 『週刊アスキー』(アスキー) 『週刊 Easy PC』(デアゴスティーニ・ジャパン)	出版業界初の前年割れ、先行きの見えない不況感 再販制見直し論議の攻防、最終段階へ 消費税率 5% に変更。GDP23 年ぶりにマイナス成長 ジュンク堂書店池袋店が 1,000 坪で開店。相次ぐ大型店の出店、各地で書店戦争も 文庫マーケットに幻冬舎、小学館などが参入
平成 10 年 (1998)	『新・人間革命 (1・2・3)』(聖教新聞社) 『ピストロスマップ KANTAN レシビ』(扶桑社) 『小さいことにくよくよするな!』(サンマーク出版) 『他人をほめる人、けなす人』(草思社) 『ダディ』(幻冬舎) 『ループ』(角川書店)	『LUCI (ルーシー)』(扶桑社) 『VIOLA (ヴィオラ)』(平凡社) 『メイプル』(集英社) 『VOICE』(講談社) 『東京ストリートニュース!』(学習研究社) 『YOKOHAMA Walker』(角川書店)	公取委「著作物再販制度の取扱いについて」発表 CD-ROM 版百科事典、大型辞・事典刊行相次ぐ 隠密作戦のスクープ出版、「ダディ」ミリオンセラーに
平成 11 年 (1999)	『五体不満足』(講談社) 『日本語練習帳』(岩波書店) 『本当は恐ろしいグリム童話 (I・II)』(ベストセラーズ) 『子どもにウケる科学手品 77』(講談社) 『鉄道員 (ぼっぼや)』(集英社)	『ウルトラジャンプ』(集英社) 『KANSAI 1 週間』(講談社) 『Get Navi』(学習研究社) 『パチスロ必勝本』(辰巳出版) 『コミック乱』(リイド社)	中央公論社経営不振で、読売新聞社の傘下に 乙武洋匡「五体不満足」、記録的ベストセラー 新書創刊相次ぐ 流通改善、再販運用推進委員会「弾力運用レポート」発表 NTTドコモ「iモード」開始。携帯電話からインターネット環境が一般に普及
平成 12 年 (2000)	『だから、あなたも生きぬいて』(講談社) 『話を聞かない男、地図が読めない女』(主婦の友社) 『ハリー・ポッターと賢者の石』『〜と秘密の部屋』(角川書店) 『これを英語で言えますか?』(講談社インターナショナル) 『捨てる! 技術』(宝島社) 『新・人間革命 (7・8)』(聖教新聞社) 『子どもが育つ魔法の言葉』(PHP 研究所)	『mini』(宝島社) 『S Cawaii!』(主婦の友社) 『ダイヤモンド ZAi』(ダイヤモンド社) 『投資相談』(実業之日本社) 『株価四季報』(東洋経済新報社) 『ENGINE』(新潮社) 『週刊美術館』(小学館)	4 年連続のマイナス、業界 3 者の枠組みも変化 公取委、結論にむけて「検討報告書」を公表 アマゾンなどオンライン書店続出、競合状態が続く 「子ども読書年」が読書推進の動きを促進
平成 13 年 (2001)	『チーズはどこへ消えた?』(扶桑社) 『金持ち父さん貧乏父さん』(筑摩書房) 『新・人間革命 (9・10)』(聖教新聞社) 『プラトニック・セックス』(小学館) 『仕事ができる人、できない人』(三笠書房)	『BAILA』(集英社) 『LEON』(主婦と生活社) 『日経おとなの OFF』(日経 B P) 『猫びより』(日本出版社、のち辰巳出版) 『週刊コミックパンチ』(新潮社) 『週刊 日本百名山』(朝日新聞社)	公取委、再販制は存続の結論 専門取次鈴木書店、負債総額約 40 億円で破産 初速記録の「チーズはどこへ消えた?」類似本騒動 写真週刊誌時代を盛り上げた「フォーカス」休刊 乱立気味の新書創刊ラッシュ 日本で「ブックスタート」運動が開始

	主なベストセラー	主な創刊誌	出版業界
平成 14 年 (2002)	『ハリー・ポッターと炎のゴブレット (上・下)』(静山社) 『ビッグ・ファット・キャットの世界ー簡単な英語の本』(幻冬舎) 『生きかた上手』(ユーリフ) 『声に出して読みたい日本語』(早稲社) 『世界がもし 100 人の村だったら』(マガジンハウス) 『新・人間革命 (11)』(聖教新聞社) 『老いてこそ人生』(幻冬舎)	『STORY』(光文社) 『Sweet!』(宝島社) 『美的』(小学館) 『ナチュリラ』(主婦と生活社) 『やさしい畑』(家の光協会) 『Sportiva』(集英社) 『コミック乱ツインズ』(リイド社)	『ハリー・ポッター』第 4 巻、初版部数前代未聞の 230 万部 日本語本、老後本ブーム、ベストセラー相次ぐ 『朝の読書』実施校 1 万校突破、読書推進運動も活発に ワンテママガジン創刊相次ぐ、新たな読者層を対象に 出版界の基盤整備を目指す、日本出版インフラセンター (JPO) 設立
平成 15 年 (2003)	『バカの壁』(新潮社) 『世界の中心で、愛をさけぶ』(小学館) 『トリビアの泉 へえの本 (1~4)』(講談社) 『ペラペラブック -2』(マガジンハウス) 『開放区』(集英社)	『In Red』(宝島社) 『ku:nel (クウネル)』(マガジンハウス) 『Safari』(日之出出版、のちマガジンハウス) 『おとなの週末』(講談社) 『プレコミックブンブン』(ポプラ社)	『バカの壁』200 万部突破、『養老本』続出 『公立図書館貸出実態調査報告書』発表 仏教関連書ブーム、ワンテママガジンも
平成 16 年 (2004)	『ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団 (上・下)』(静山社) 『世界の中心で、愛をさけぶ』(小学館) 『バカの壁』(新潮社) 『グッドラック』(ポプラ社) 『蹴りたい背中』(河出書房新社) 『13 歳のハローワーク』(幻冬舎)	『Mart』(光文社) 『MAQUIA』(集英社) 『天然生活』(地球丸、のち扶桑社) 『Mono Max』(宝島社) 『月刊からだにいいこと』(祥伝社) 『週刊日本の樹木』(学習研究社)	文芸書を中心にミリオンセラー続出。出版物の販売額 8 年ぶりに前年を上回る 『ハリー・ポッター』第 5 巻、初版部数最多の 290 万部 大型書店出店が相次ぐ一方、青山ブックセンター民事再生も 第 130 回芥川賞、最年少受賞で『文藝春秋』も増刷
平成 17 年 (2005)	『頭がいい人、悪い人の話し方』(PHP 研究所) 『さおだけ屋はなぜ潰れないのか?』(光文社) 『これだけは知っておきたい個人情報保護』(日本経済新聞社) 『もっと、生きたい…』(スタート出版) 『電車男』(新潮社)	『REAL SIMPLE JAPAN』(日経 B P) 『GISELe』(主婦の友社) 『UOMO』(集英社) 『月刊少年シリウス』(講談社) 『EX 大衆』(双葉社)	再びマイナス成長、書籍・雑誌ともに前年割れ ブログ本相次ぐ、ベストセラーも 『文字・活字文化振興法』の成立、読書推進を支援 『個人情報保護法』施行、関連書続出
平成 18 年 (2006)	『国家の品格』(新潮社) 『ハリー・ポッターと謎のプリンス (上・下)』(静山社) 『東京タワー』(扶桑社) 『えんぴつで奥の細道』(ポプラ社) 『病気になるしない生き方』(サンマーク出版) 『人は見た目が 9 割』(新潮社) 『恋空 (上・下)』(スタート出版) 『生協の白石さん』(講談社)	『GOETHE (ゲーテ)』(幻冬舎) 『OCEANS』(インター・ナショナル・ラグジュアリー・メディア) 『KING (キング)』(講談社) 『steady.』(宝島社) 『小悪魔 ageha』(インフォレスト) 『少年ファンク』(リイド社) 『プレジデント Family』(プレジデント社) 『Edu (エデュ)』(小学館)	日書連『全国小売書店経営実態調査報告書』をまとめる 新書ブーム、相次ぎ参入、文庫創刊も 格差社会を反映した類書相次ぐ 『する本』ブーム。めり絵、えんぴつ、脳トレ、パズル、数独 『ダ・ヴィンチ・コード』1,000 万部突破 アマゾンジャパン『e 託販売サービス』開始 日販が TSUTAYA 向け商物流事業部門を会社分割して『MPD』を設立
平成 19 年 (2007)	『女性の品格』(PHP 研究所) 『ホームレス中学生』(ワニブックス) 『鈍感力』(集英社) 『日本人のしきたり』(青春出版社)	『AneCan』(小学館) 『marisol』(集英社) 『クロワッサン Premium』(マガジンハウス) 『eclat』(集英社)	『文字・活字文化推進機構』設立 ベストセラーにケータイ小説、『女性の品格』200 万部突破 自費出版ブームのなかで、商法をめぐって提訴も
平成 20 年 (2008)	『ハリー・ポッターと死の秘宝 (上・下)』(静山社) 『夢をかなえるゾウ』(飛鳥新社) 『B 型自分の説明書』(文芸社)	『HERS』(光文社) 『ぶっちぐみ』(小学館) 『NHK テキスト やさしい時間』(日本放送出版協会)	雑誌不況で休刊相次ぐ、看板・有力雑誌も 新風舎、草思社の倒産、文芸社が吸収
平成 21 年 (2009)	『IQ84 (BOOK1・2)』(新潮社) 『読めそうで読めない間違いやすい漢字』(二見書房) 『私服だらけの中居正広増刊号 輝いて』(扶桑社) 『告白』(双葉社) 『「脳にいいこと」だけをやりなさい!』(三笠書房) 『体温を上げると健康になる』(サンマーク出版) 『しがみつかない生き方』(幻冬舎)	『美 ST』(光文社) 『GINGER』(幻冬舎) 『ニコ☆プチ』(新潮社) 『ゲッサン』(小学館) 『まちがいがしがファミリー』(大洋図書) 『MONOQLO』(晋遊舎) 『週刊古社名刺 巡拝の旅』(集英社)	『IQ84』224 万部、発売前の予約でベストセラーに アマゾンジャパンの市場拡大顕著に 休刊誌相次ぐ、老舗・看板雑誌も 民主党に政権交代、関連書続出
平成 22 年 (2010)	『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら』(ダイヤモンド社) 『IQ84 (BOOK3)』(新潮社) 『伝える力』(PHP 研究所) 『くじけないで』(飛鳥新社) 『これからの「正義」の話しよう!』(早川書房)	『GLOW』(宝島社) 『リンネル』(宝島社) 『上沼恵美子のおしゃべりクッキング』(学研パブリッシング) 『月刊コミックゼノン』(徳間書店) 『NHK すてきにハンドメイド』(日本放送出版協会)	国民読書年、各地で多彩な行事 電子書籍元年。『日本電子書籍出版社協会』設立 雑誌の付録が人気、宝島社に話題集中 『もしドラ』がミリオンセラーに。ドラッカーブーム再燃 大日本印刷 (DNP) がジュンク堂、丸善、TRC を傘下に収める。業界再編加速

	主なベストセラー	主な創刊誌	出版業界
平成 23 年 (2011)	『謎解きはディナーのあとで』(小学館) 『心を整える。』(幻冬舎) 『人生がときめく片づけの魔法』(サンマーク出版) 『KAGEROU』(ポプラ社)	『Lips』(マガジンハウス) 『コロコロイチバン!』(小学館) 『月刊コミック@パンチ』(新潮社) 『月刊ヒーローズ』(小学館クリエイティブ)	東日本大震災、未曾有の被害に 震災関連本相次ぐ、脱原発本も 『タニタ本』430 万部に、ミリオンセラー続出 『代官山 鳥屋書店』が開店
平成 24 年 (2012)	『聞く力 心をひらく 35 のヒント』(文藝春秋) 『置かれた場所で咲きなさい』(幻冬舎) 『舟を編む』(光文社) 『大往生したけりや医療とかかわるな』(幻冬舎)	『and GIRL』(エムオン・エンタテインメント) 『月刊 COMIC リュウ』(徳間書店) 『段位認定ナンバープレース 252 題』(白夜書房) 『昭和 40 年男』(クレタパブリッシング)	『出版デジタル機構』発足。コンテンツ緊急電子化事業始まる 出版者の権利(著作権隣接権)で報告書 アマゾンジャパン、日本版『Kindle』発売。電子書籍事業を開始
平成 25 年 (2013)	『医者に殺されない 47 の心得』(アスコム) 『色彩を持たない多崎つくると、彼の巡礼の年』(文藝春秋) 『海賊とよばれた男(上・下)』(講談社) 『ロスジェネの逆襲』(ダイヤモンド社)	『GOLD』(世界文化社) 『LDK』(晋遊舎) 『kodomoe (コドモエ)』(白泉社) 『月刊アクション』(双葉社)	村上春樹の新作長編、発売 7 日でミリオンセラーに CCC が指定管理者となった武雄市図書館開館で、賛否両論 アベノミクス関連本続出
平成 26 年 (2014)	『人生はニヤンとかなる!』(文響社) 『村上海賊の娘(上・下)』(新潮社) 『銀翼のイカロス』(ダイヤモンド社) 『学年ビリのギャルが 1 年で偏差値を 40 上げて慶應大学に現役合格した話』(KADOKAWA)	『大人のおしゃれ手帖』(宝島社) 『otona MUSE』(宝島社) 『Mart バッグ in サイズ』(光文社) 『CHANTO (チャント)』(主婦と生活社)	『特定秘密保護法』施行 著作権法改正で、新たに電子出版権が出版社に 嫌韓、嫌中本続出 NTTドコモ、電子雑誌の定額制読み放題サービス「d マガジン」を開始
平成 27 年 (2015)	『火花』(文藝春秋) 『フランス人は 10 着しか服を持たない』(大和書房) 『家族という病』(幻冬舎) 『置かれた場所で咲きなさい』(幻冬舎)	『プレジデントウーマン』(プレジデント社) 『DENGKEI G's コミック』(KADOKAWA) 『少年マガジンエッジ』(講談社)	栗田出版販売が民事再生法の適用を申請 『格差の拡大』背景に、ピケティブーム起きる 又吉直樹『火花』芥川賞受賞。『火花』フィーバーに 日書連 10 年ぶりの『小売書店実態調査報告書』まとまる
平成 28 年 (2016)	『天才』(幻冬舎) 『ハリリー・ポッターと呪いの子 第一部、第二部』(静山社) 『君の隣をたべたい』(双葉社) 『嫌われる勇気 自己啓発の源流「アドラー」の教え』(ダイヤモンド社)	『小説幻冬』(幻冬舎) 『BRODY』(白夜書房) 『超特大版漢字ナノクロプレミアムハーフ』(学研プラス) 『DVD 付分冊マンガ講座 ジャンプ流!』(集英社)	『小説君の名は。』『ハリリー・ポッター』新作、ともに 100 万部 太洋社の倒産と大阪屋栗田の統合
平成 29 年 (2017)	『九十歳。何がめでたい』(小学館) 『蜜蜂と遠雷』(幻冬舎) 『儒教に支配された中国人と韓国人の悲劇』(講談社) 『騎士団長殺し(第 1 部・第 2 部)』(新潮社)	『&ROSY』(宝島社) 『LEE コンパクト版』(集英社) 『bis』(光文社) 『LDK the Beauty』(晋遊舎)	アマゾンジャパン、日版バックオーダーを停止 文藝春秋社長、文庫本の図書館貸出し中止を提言 輸送問題の顕在化。取協・雑協「発売日・輸送問題プロジェクトチーム」発足 『万引防止出版対策本部』発足
平成 30 年 (2018)	『漫画 君たちはどう生きるか』(マガジンハウス) 『大家さんと僕』(新潮社) 『君たちはどう生きるか』(マガジンハウス) 『頭に来てアホとは戦うな!』(朝日新聞出版)	『PHP からだスマイル』(PHP 研究所) 『ヤングキング BULL』(少年画報社) 『MonoMaster』(宝島社)	トーハン・日販、物流の協業へ検討開始 海賊版サイト「漫画村」閉鎖へ 出版社各社で「スリップレス」化が進む 『本の日』キャンペーン初実施
平成 31 年 令和元年 (2019)	『一切なりゆき 樹木希林のことば』(文藝春秋) 『樹木希林 120 の遺言 死ぬときぐらい好きにさせてよ』(宝島社) 『日本国記』(幻冬舎) 『メモの魔力』(幻冬舎)	『素敵なおの人』(宝島社) 『実話 BUNKA 超タブー』(コアマガジン) 『NHK テレビ 知りたガールと学ボーイ』(NHK出版)	トーハン・日販、書籍・雑誌の返品業務、書籍新刊発送業務の協業に合意。2020 年度以降、順次物流拠点の統廃合を行うと発表 大阪屋栗田、楽天ブックスネットワークに社名変更 アマゾンジャパン、直接取引する出版社からの買切仕入を試験的に開始 消費税率 10% に。出版物への軽減税率適用は見送られる